

サポート

N o. 170

令和2年9月7日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

「病気の子どもたちの学習を支える体制整備事業」について

小・中学校等の病弱・身体虚弱特別支援学級においては、これまでの各種事業により、指導・支援が充実してきています。しかし、通常の学級や高等学校に在籍している入院・療養中の児童生徒が、学校とのつながりを維持しながらスムーズに復学するための体制には課題がある状況です。

そこで、今年度は、県内の病弱教育を推進するための中核的な拠点として、県立秋田きらり支援学校内に「病弱教育サポートセンター」を設置するとともに、児童生徒等を支えるための校内支援体制の整備と、学校間や市町村、関係機関が連携した支援体制の構築を目指し、本事業に取り組んでいます。

＜事業目的＞ 入院・療養中等の児童生徒等の相談支援と復学支援及び在籍校による学習支援の充実を図るための体制を整備すること

- ＜事業内容＞
- 1 病弱教育サポートセンター設置による全県域への支援
 - 2 病弱教育連絡協議会の実施（対象：市町村教育委員会）
 - 3 病弱教育アドバイザーによる病弱教育への支援
 - 4 病弱教育推進協議会の開催

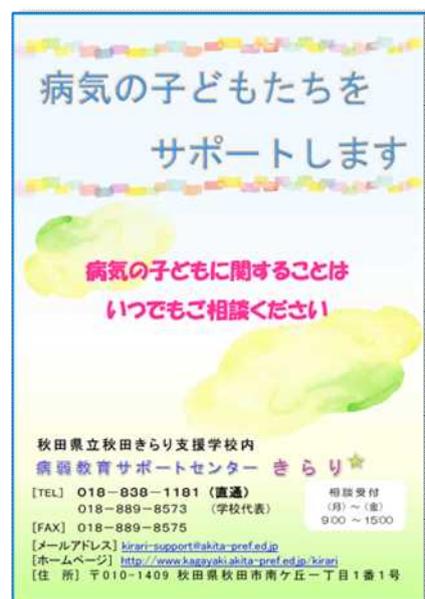
「病弱教育サポートセンター」について

全県域の病気の子どもを支援していくためには、病弱教育サポートセンターだけではなく、各地域にある特別支援学校のセンター的機能や各市町村教育委員会等、関係機関との連携による支援が求められます。

病気やけがが発生した際に、地域の関係機関に情報が入り、相談を受けた場合は、病気の子どもたちを支えるための具体的な支援内容をともに検討します。御活用ください。

【主な取組】

- 相談支援
 - ・オンラインによるテレビ会議システムを活用しての教育相談
 - ・学習等に関する相談
- 教育活動支援
 - ・中通病院内の訪問教育（カンファレンス参加、幼児教室実施）
 - ・秋田市内総合病院短期入院児への学習等支援
 - ・病弱・身体虚弱特別支援学級への訪問
 - ・特別支援学校との連携による地域の学校等への学習等支援
- 理解啓発活動
 - ・市町村教育委員会、地域の総合病院を訪問しての説明
 - ・ホームページ上でのリーフレット紹介



秋田きらり支援学校のHPよりダウンロードできます

インクルーシブの風～高等学校における特別支援教育

「共生社会の形成」に向け、インクルーシブ教育システム（※）が推進されています。インクルーシブ教育システムの推進にあたっては、特別支援教育の充実が必要であり、現在全校種において特別支援教育に関する取組が行われています。

このコーナーでは、各校種等における特別支援教育への取組や交流及び共同学習の様子などについて紹介していきます。

今号は高等学校における事業紹介です。



※インクルーシブ教育システム

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするという目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み

高校生学校生活サポート事業

今年度で10年目を迎えた「高校生学校生活サポート事業」では、県立高等学校6校に学習サポーターを配置し、学校生活や学習に対して困り感や不安を抱えている生徒の支援を行っています。各校においては、職員の共通理解を図り、校内外研修を推進することで、望ましい支援に向けた校内支援体制を構築しています。また、高等学校特別支援隊や関係機関との連携により、生徒の自立と社会参加に向けた支援の充実も図っています。

学習サポーター配置校が特に意識しているのは、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動です。生徒を尊重した分かりやすい授業、互いの価値観を認め合う活動などから、「勉強が分かるようになった」「学校が楽しいと思えるようになった」という生徒の声が多数あがり、入学時に苦手だったことの改善が見られました。丁寧な指導や質問しやすい雰囲気が、生徒の学習意欲を喚起し、主体的な学びにつながった結果です。また、就職先と支援内容等を共有するために、学校独自の移行支援シートを作成し、工夫しながら活用している学校もあります。

今後も、家庭、地域、関係各所と連携し、一人一人の生徒に目が行き届く、きめ細かな教育を推進していきます。



「家庭基礎」

サポーターの支援が心強いです。



「心の健康教室」

他学年の生徒との交流が好評でした。



学校行事「全校田植え」

生き生きと取り組んでいます。

おめでとうございます

令和元年度 全日本学校関係緑化コンクール

学校林等活動の部 準特選 (国土緑化推進機構会長賞)

秋田県立能代支援学校

国土緑化推進機構では、青少年の緑化活動と学校における緑化教育の一層の推進を図るため、昭和25年度から、毎年全日本学校関係緑化コンクールを実施しています。

このたび、能代支援学校が準特選を受賞しました。全国の高等学校等の中でも2校しか選ばれない栄えある受賞です。

本来であれば、島根県で開催の第71回全国植樹祭の会場で表彰される予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、学校において新井敏彦特別支援教育課長より、佐藤玉緒校長へ伝達しました。学校での、これまでの取組が認められての受賞であり、今後も学校林等活動等、緑化教育のより一層の充実が期待されるところです。本当におめでとうございます。



令和2年春の叙勲 おめでとうございます

この度、本県特別支援教育の充実と発展に尽力され、その御功績により、斎藤 孝 先生が、瑞宝小綬章を受章されました。

本来であれば、皇居にて天皇陛下より伝達及び拝謁が行われるところでありましたが、新型コロナウイルスの影響により、残念ながら中止となり、県庁第二庁舎において、新井敏彦特別支援教育課長が叙勲の伝達をいたしました。ささやかな形での伝達及び叙勲を祝う式ではありましたが、特別支援教育課員一同で受章のお祝いをさせていただきました。

斎藤 孝 先生、この度は本当におめでとうございます。

